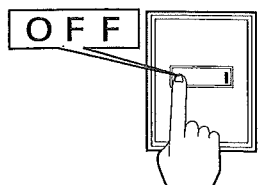


■お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切ってください。

\*感電の原因となります。



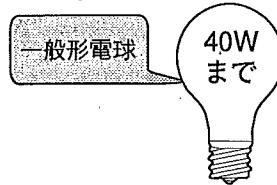
■器具の点灯時および消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。

\*やけどの原因となります。



■必ず指定の電球をご使用ください。

\*指定以外の電球を使用しますと、器具の異常過熱などにより火災の原因となります。



■器具のお手入れ



●センサーが汚れていますと誤動作したり動作しない場合がありますので、定期的にセンサーを掃除してください。

●器具が虫やほこりなどで汚れましたら、きれいな布で軽くはたき落としてください。汚れが落ちない場合は、石けん水やぬるま湯に浸してよくしぼった柔らかい布でふき取ってください。

●化学ぞうきんを使用する場合はその注意書に従ってください。

●みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけないでください。

\*傷、変色、破損の原因となります。



## 仕様

| 器具             | 仕様 | 定格電圧   | 消費電力 | 適合電球           |
|----------------|----|--------|------|----------------|
| L BW 4 6 2 4 H |    | 交流100V | 40W  | 日立40W形ソフトシリカ電球 |

\*この器具は、壁スイッチなどの、電源が入っている状態では、消灯しているときでも約0.5Wの電力を消費しています。

## アフターサービス

●もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

### お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日

◎日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

人検知センサーつき  
ポーチライト

L BW 4 6 2 4 H [防雨形]

このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本文中の「図記号」の意味は次の通りです。



「禁止」を表します。



「必ずしてほしい行為」を表します。



「接触禁止」を表します。



「必ずアース線を接続せよ」を表します。

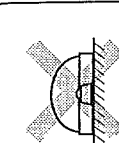
## 安全上のご注意

### 警告

●この器具は、取り付け方向がある壁面取り付け専用の防雨形器具です。このような取り付けはしないでください。



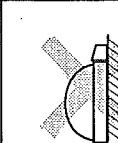
防水性能が保てなくなり、火災・感電の原因となります。



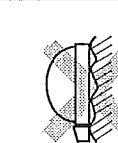
横向き  
取り付け



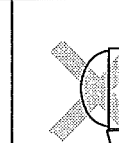
傾斜面  
取り付け



取り付け  
方向が上下逆



取り付け  
面が凸凹



取り付け  
面がせまい



湿気の多い所

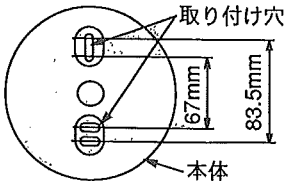
- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼してください。  
\*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業してください。  
\*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしないでください。  
\*感電・火災・けがの原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まないでください。  
\*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけないでください。  
\*過熱し、火災の原因となります。

### 注意

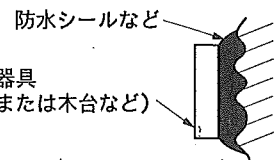
- 定格電圧 交流100V以外で使用しないでください。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定の電球をご使用ください。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切ってください。  
\*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。  
\*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えないでください。  
\*器具落下の原因となります。
- 常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しないでください。  
\*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

## 器具を取り付ける前に

- 器具は、本体の取り付け穴を使用して、付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。

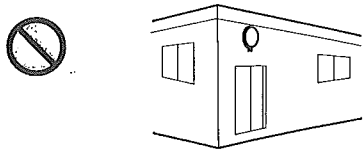


- 取り付け面に凹凸がある場合は、防水性能を保つため、防水シールなどで器具（または木台など）と取り付け面とのすき間を埋めてください。

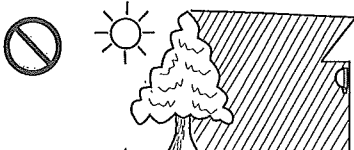


- 次のような場所には、取り付けしないでください。（誤動作したり、動作しない場合があります。）

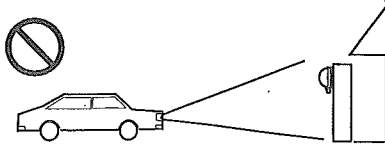
- 取り付け高さが2.5m以上になる場所



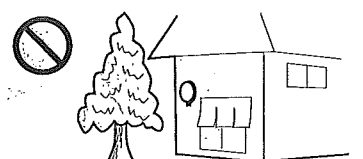
- 昼間でも暗い場所（木かげ、ひさしの下など）



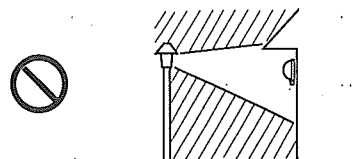
- 車のヘッドライトなどの強い光が当たる場所



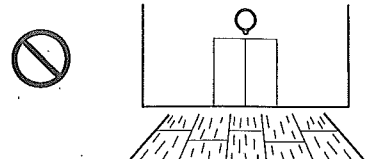
- 検知エリア内に風などで揺れるのれんや植物などがある場所



- 夜間でも明るい場所（他の照明の光がセンサーに当たる場所）

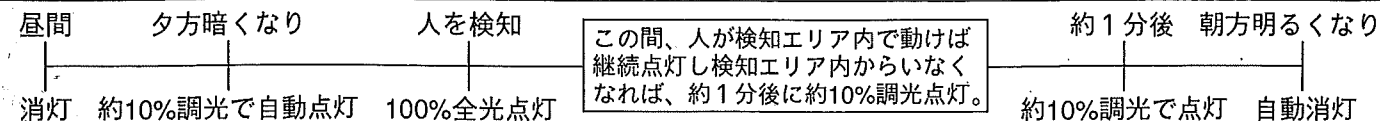


- 大理石などの反射の強い床面がある場所



## 動作順序および検知エリア

### 動作順序



### 電源を投入したときの動作

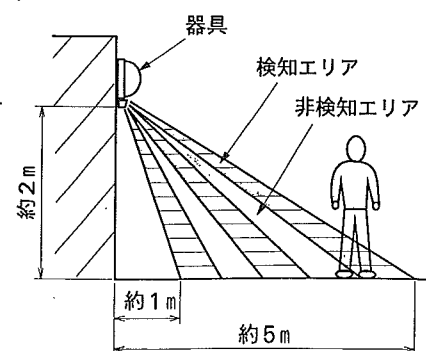
- (1) 電源ON（または、停電後復帰）すると必ず約30秒間点灯します。
- (2) その後、約150秒間は明るさにかかわらず人の動きを検知すると点灯し、数秒後に消灯します。
- (3) 上記(1)、(2)の動作が終了すると、人検知センサーの動作に入ります。

### 標準取り付け高さで検知エリア

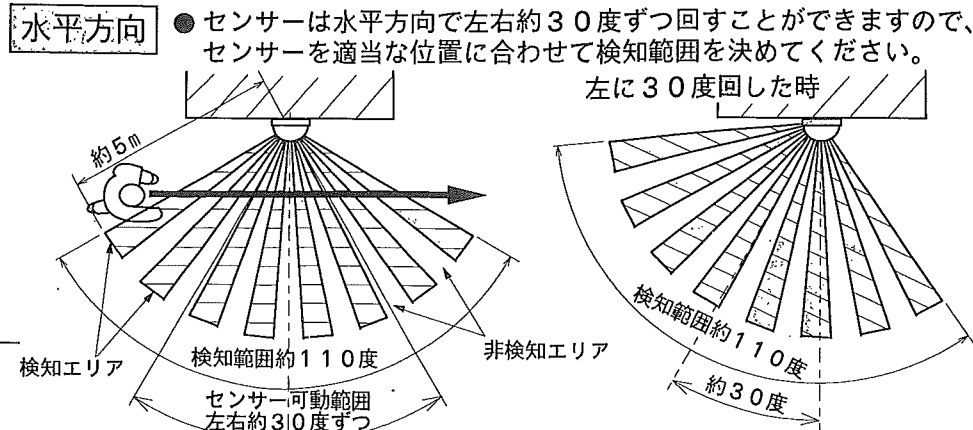
#### 器具設置位置についてのお願い

- センサーの特性上、検知エリアを人が横切るような位置に取り付けてください。

#### 垂直方向



#### 水平方向



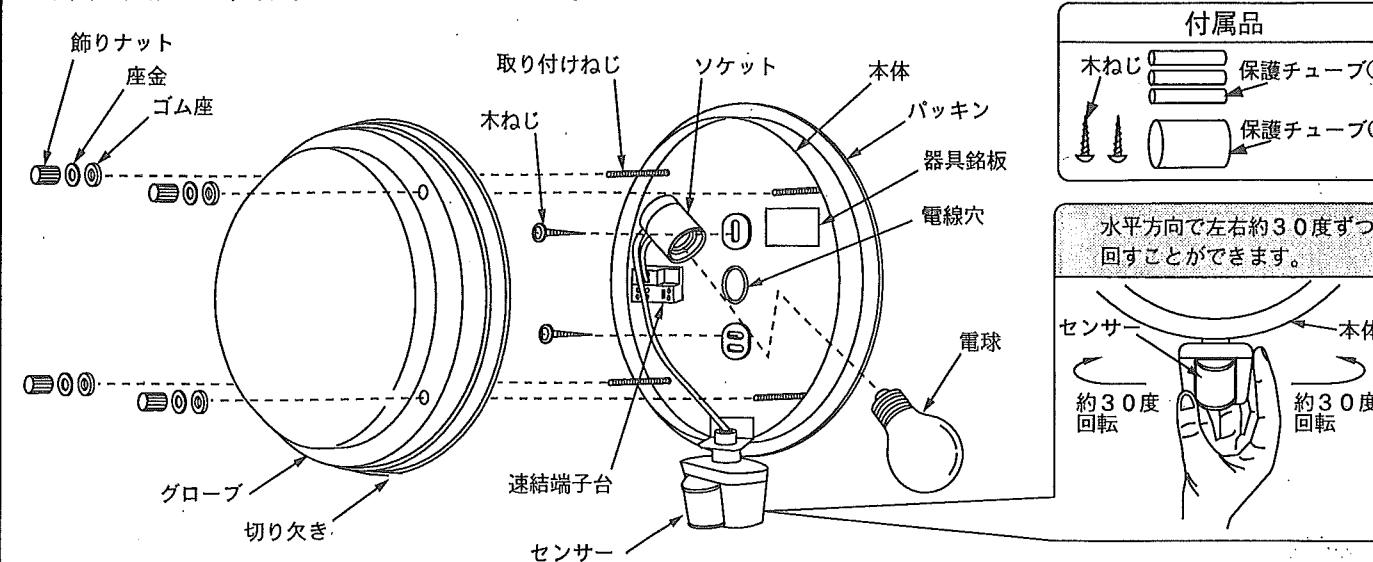
### ご注意

- センサー正面に向かって人が近づくような位置では、器具の近くまでこないと検知しない場合があります。
- センサーは人体から放射される熱を検知しておりますので、周囲温度が高く、人と周囲の温度差が少ない場合、人が検知エリア内に入っても検知しにくい場合があります。
- 検知エリア内に、犬や猫などの小動物が入った場合や、熱源や動くものがあると、点灯することがあります。
- 検知エリア内に人がいても、静止している場合などの、動きがなく温度変化がない状態では検知しません。
- 明るさセンサーにより、周囲が暗く（約30ルクス以下）になると自動点灯し、明るく（約60ルクス以上）になると自動消灯します。

## 各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。

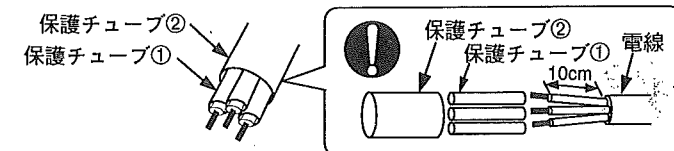


## 器具の取り付けかた

- 各部の名称を参照して、器具を取り付けてください。

- (1) 飾りナットをゆるめて本体からグローブを取りはずした後、ソケットから電球を取りはずし、本体の電線穴に電線を通し、取り付け方向ラベルに従い付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。

- (2) 必ず、電線およびアース線に保護チューブ①、②を右図のようにかぶせてください。



- (3) 電線とアース線を連結端子台に接続してください。

| 接続のしかた                                                                                                                                    | 解除のしかた                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>● 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。</p> <p>● 適用電線<br/>φ1.6単線<br/>φ2.0単線</p> <p>アースは、必ずお取りください。<br/>＊アース線の接続が不完全な場合、感電の原因になります。</p> | <p>● 電線ははずす場合、ドライバーで電線ははずしボタンを強く押し、電線を引き抜いてください。（アース線は、電線ははずし穴に⊖ドライバーを強く差し込み、引き抜いてください。）</p> |

- (4) 電球をソケットに取り付けた後、点灯確認してください。（点灯確認は2ページ「電源を投入したときの動作」を参照してください。）

- (5) グローブの切り欠きをセンサーに合わせてから、取り付けねじを通して本体にかぶせた後、取り付けねじにゴム座、座金を通し、飾りナットで締め付けてください。

- 取り付けましたら、グローブを軽くひっぱり確実に取り付けられているかお確かめください。